

① 学習指導案

プログラム	No.5「地域カルタをつくろう」
単元名 (時間数は学年ごとに異なる)	大綱小150周年を盛り上げよう
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「人」「もの」「こと」と関わり、大倉山のよさを発見したり、地域の方の思いに触れたりすることで、まちを大事に思う気持ちを育む。 ・カルタ作りの活動を通して、全校児童、地域、保護者とまちのよさを共有する。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 各学年で、まちの「人」「こと」「もの」に関わる学習を行う。 2 活動を通して、まちのよさを見つけ、読み札の文に表す。 3 取り札の絵をかいて、カルタを完成させる。 4 完成したカルタで遊んだり、周年記念集会（式典）で地域の方に紹介したりする。 <p>〈各学年の活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年…大綱小学校のよいところ探し（生活科：学校探検） 2年…商店街のお気に入りのお店探し（生活科：町探検） 3年…学校やまちの歴史調べ（総合的な学習の時間・社会科） 4年…地域防災訓練等、防災について（総合的な学習の時間・社会科） 5年…ピオトーブ作成（総合的な学習の時間・理科） 6年…地域人材との交流～キャリア教育を通して（総合的な学習の時間） <p>個別支援級…地域の障害者支援施設（かれん）との連携</p>
参考資料 準備品 実施場所等	<p>画用紙・マジック・タブレット</p> <p>学校・地域</p>

学習の流れ（5年）




時間	学習活動	教師の指導	評価
1	御殿場と大倉山の自然を比べ地域の自然環境について考える。	・宿泊学習をきっかけに御殿場と大倉山の環境の違いを見つけ、地域の自然環境に着目させる。	・御殿場と大倉山の自然について主体的に調べ、違いを見つける。
1	ビオトープについて知る。	・ビオトープについて知らない児童が多いので、本校卒業生でもある地域のビオトープ管理士から話を聞くことで理解できるようにする。	・ビオトープについて理解する。
1	ビオトープ作成の様子を見学する。	・見学を通して、ビオトープのしくみについての理解し、今後の活動に向けて意欲をもてるように声かけをする。	・今後の活動に向けて意欲をもつ。
1	植生について学ぶ	・ビオトープ管理士から話を聞きビオトープに植える植物について自分たちで決められるようにする。	・ビオトープに植物について話し合っって自分たちで選択する。
20	ビオトープ完成後、クラスごとの取り組み ・トンボマップ作り ・看板作り ・地域の自然についての調べ学習	・活動の中で疑問点が出たときには、ビオトープ管理士やビオトープ作成の業者に聞いて、自分たちで解決していけるようにする。	・クラスごとに活動を決め、主体的に課題解決に取り組む。
2	活動したことや調べたことについて保護者に発表する。	・タブレットを活用し、写真や動画を活用しながら効果的に発表できるよう支援する。	・タブレット等を活用しながら資料を準備し、分かりやすく発表する。
3	活動を振り返り、カルタの題材になるものを選び、カルタを作る。	・目的意識と相手意識を明確にし、自分たちが紹介したい内容を考え、五七五のリズムの読み札になるよう指導する。	・紹介したい内容を考え、五七五のリズムに合わせて言葉を選ぶことができる。
1	ビオトープの今後の活用について、話し合う。	・次年度以降の持続可能な活動につなげていけるよう支援する。	・今後の管理について自分ごととして考える。


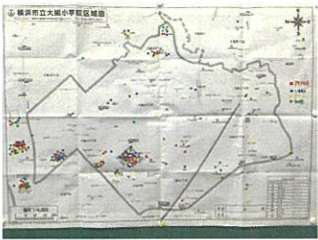
<留意点>

○目的意識をもち、児童の主体的な取り組み、活動になるようにする。

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立大綱小学校

時間数	場所	概要	活動記録 (写真)	対象者の反応
1	教室	<p>○御殿場と大倉山の自然をを比べてみよう (植物・生き物)</p> <p>・宿泊学習で行った御殿場と比較し、大倉山の自然(植物や生き物)について考える。</p>		<p>御殿場と比べ、大倉山は自然が少ないことを実感し、「なぜだろう。」「どうしたら増やせるだろうか。」と問題意識をもった。</p>
2	体育館	<p>○ピオトープについて知ろう</p> <p>※本校卒業生でもある、地域のピオトープ管理士による授業</p>		<p>・クイズを楽しみながら管理士の話を聞いていた。ピオトープについて知らない児童がほとんどだったが、大倉山の昔の自然の様子やピオトープの役割等を知り、今後の活動に興味をもつことができた。</p>
3	ピオトープ	<p>○ピオトープ作成の様子を見学しよう</p> <p>・ピオトープ完成</p>		<p>・進んで工事の方に声をかけたり、質問したりしていた。まるで本物のようなポンプを隠す石は、工事の方の手作りであることを教えてもらい、職人の技に感動していた。その後も工事の進捗状況が気になり、隙間時間に教室の窓からのぞいたり、自分たちからピオト</p>

				ープに足を運んだりする様子が見られた。
4	教室 ビオトープ	○植生について学ぼう ※本校卒業生でもある、地域のビオトープ管理士による授業 ○自分たちでビオトープを管理していこう。 ・交代で管理する。		・大倉山の植生と生き物の分布について、データ化したものを見せてもらいながら学んだ。 ・来てほしい生き物を思い思いに話すなど、積極的にビオトープと関わる姿が見られた。
5 ~24	教室 ビオトープ 学区	○学区内のトンボマップを作ろう ・マップ作り (学区内の観察) ・ビオトープの効果についての観察 倉山の自然やトンボの分布について調べたことを発表しよう。 ○大倉山の自然について保護者に発信しよう ・ビオトープの効果 ・トンボの分布 ・過去、現在の状況の比較 ・未来に向けての活動		・観察から水場があるとところトンボが集中していることが分かった。 ・今までプールに集まっていたやごがビオトープに集まってきていることに気付くことができた。 ・活動を通して自然を維持することの大切さや難しさを学んだ
25・ 26				
27~ 29	教室	○大倉山カルタを作ろう		
30	教室	○ビオトープの今後の維持・活用法について話し合おう		

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・周年行事実行委員（6年児童）を立ち上げ、全校にカルタ作りの呼びかけを行い、学校全体でカルタ作りに取り組むことで、150周年を盛り上げていけるようにした。できあがったカルタは周年記念式典や校内に掲示し、地域や保護者にも披露した。また、学習でお世話になった地域の方を周年記念集會に招待し、地域の方とともに150周年をお祝いできるようにした。 <p>※カルタは各クラス2文字ずつ作成。25クラス。25×2=50 計50セット 個別支援級（4クラス）は表紙・裏表紙、そしてお祝いケーキ作りを作成。</p> <ul style="list-style-type: none">・御殿場自然学習（宿泊学習）と関連させることで、御殿場の自然と比較させながら、自分たちの住む地域の自然に着目させ、ピオトープの活動につなげた。・子ども自身が問題意識をもったときに、いつでも聞けるようにと、ピオトープ管理士、作成業者とも、何度でも関わりやすい地域の方を探し、お願いした。特に管理士には、何度も来校していただき、子どもたちの主体的な活動、学びにつながった。
<p>(2) 実施にあたり苦勞した点</p> <ul style="list-style-type: none">・ピオトープが大きいものではなく、クラス単位で行える規模であったため、学年全体で行うことが難しかった。・長期休み、特に夏休み中の管理が、児童では難しく、教員の仕事になり、負担となった。
<p>(3) 児童の反応</p> <p>150周年記念事業として作られたピオトープの管理を任せられ、責任をもって意欲的に取り組んだ。</p> <p>ピオトープが校内にあるため、トンボ（やご）の分布の観察を、継続して行うことができたため、変化を実感しやすかった。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>各学年でまちとの関わりの学習を行い、それを共有したことで、大倉山の新たな材の発見ができたとともに、大倉山の地域（ひと・こと・もの）の素晴らしさを実感した。次年度以降も地域人材を含めた魅力的な材を生かし、各教科の学習につなげ、より充実したカリキュラム作りをしていきたいと考えている。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み（児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等）</p> <p>ピオトープの管理について…学年だと人数が多すぎるため、今後は委員会活動の仕事として管理していくこととしている。一方で学習として活用する場合は、総合的な学習の時間での活用が望ましいと考えているので、ピオトープを材として何を学ばせ、どのような力を身に付けさせたいのか、学校全体で検討していく必要がある。</p>